

# 平成16年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	89	学校名	茨城県立下妻第一高等学校				課程	全日制	学校長名	猪瀬 勝衛						
教頭名	斎藤 孝雄								事務(室)長名	成島 正敏						
教職員数	教諭	45	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	1	実習教諭, 実習講師, 実習助手	2	事務職員	3	技術職員等	3	計	60
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	137	143	138	141	149	125			424	409	21				
	科															

## 2 目指す学校像

生徒一人一人の学力の向上を図る。  
 特別教育活動を重視し、心身の調和的発達を図る。  
 生命尊重の立場から安全教育・健康教育の推進に努める。  
 愛校心を涵養し、本校伝統の尊重とその発揚に努める。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	潜在能力を十分に発揮し成果を上げた生徒も増えている。一部基礎学力の定着への取り組みが不十分な生徒も見られた。	基礎学力の定着が不十分な生徒に対する指導と個々の能力に応じた指導をどう推進していくか。
進路指導	進学実績は着実に伸びている。高い目標に対する指導体制も整いつつあるが、より一層の充実が必要である。	進路実績の一層の向上とより高い進路目標を持たせ実現させる指導体制を如何に確立するか。
生徒指導	ほとんどの生徒は社会の一員としての責任やマナーを身につけてきている。生命尊重の立場から交通事故の撲滅に取り組む必要がある。	全生徒の規範意識を確保するための指導および交通安全意識の高揚をどう進めるか
特別活動	多くの生徒は文武両道を実践し、様々な生徒会活動にも積極的に参加している。	全生徒による自主的な取り組みをどう推進するか。

## 4 中期的目標

1	生徒が主体的に学習に取り組めるように、特色ある教育課程を編成するとともに、教科指導に関する校内研修を充実し、教育内容の改善を図る。
2	生徒の進路実現をより一層向上させるため、きめ細かな進路指導を展開する。
3	安全教育、健康教育、人権教育、さらに、心の教育を関連させながら実施することによって、生徒の内面的な充実を図る。
4	生徒が生き生きとした学校生活を送れるように、文化祭・為桜オリンピック・クラスマッチなどの学校行事の内容の充実を図る。
5	学校行事を通して愛校心を涵養しながら、創立 110 周年に向けて新たな伝統の継承に努める。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1 年次	個々の生徒の学力の実態に応じた主体的な学習指導の実施 規範意識の確立とその実践を図る取り組みの実施 3 年間を見通した計画的な進路指導の実施 学校行事に全教職員が当たるなど、特別活動の充実	各教科においてシラバスを作成し教科指導の改善・充実を図る。 「制服をきちんと着よう」のスローガンのもと、その意義を理解し、全職員でその指導にあたる。 個人面談の充実や進路ガイダンスの充実、進学要覧の内容の見直しを行う。 文化祭・クラスマッチの企画・運営を生徒中心にし、これらの指導に全職員であたる。	
2 年次	個々の生徒が意欲的に学習に取り組む学習指導の実施 人権尊重の精神の涵養とその実践を図る取り組みの実施 生徒の進路実現に向けた意欲的な進路指導の実施 次年度を見通した計画的な学校行事の実施	学習内容を見直し、3 か年間を見通した授業計画の改善を図る。 「校則を守ろう」のスローガンのもと、社会生活における規範意識の高揚を図る。 家庭学習や休業中の学習習慣の恒常化を図る。 定期戦開催に計画的に取り組む。次年度開催の為桜祭の企画立案を進める。	
3 年次	個々の生徒の能力を十分に引き出す学習指導の実施 自立的な生活を実践するための取り組みの実施 より高い進路目標を実現できる進路指導の実施 生徒の主体的な活動を重視した学校行事の実施	生徒による学習計画案の作成・活用による自立的な学習の実践に努める。 「公共マナーを向上しよう」のスローガンのもと、望ましい社会生活の実践を図る。 生徒の実態・進学状況に関する校内研修の機会を充実させて職員間の情報の共有化を図り、よりよい進路指導を展開する。 各種学校行事を生徒が主体的に参加・運営し、生徒による学校行事運営の支援体制を作る。	